

ベクタの単純化フィルタ

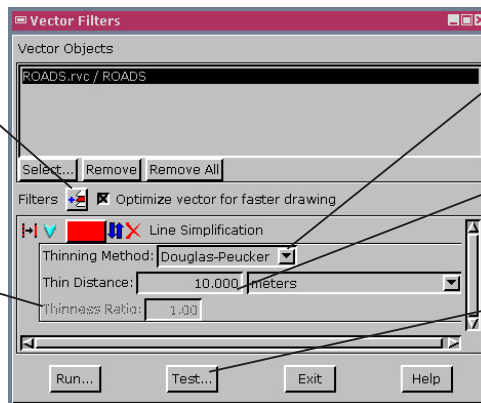
ご存知でしたか?... ベクタのラインの中間点の数を減らすことができます。

ベクタの単純化フィルタによって...

- ベクタのラインをまっすぐにして単純化することができます。
- ベクタオブジェクトの保存に必要な容量が小さくなります。
- 他の処理においてもベクタオブジェクトの処理が速くなります。
- 低解像度の画像の上に表示する際、ラインの細部を落とすことができます。

[フィルタの追加 (Add Filter)] アイコンをクリックして [ラインの単純化 (Line Simplification)] フィルタを選択します。

「細さの比 (Thinness Ratio)」は、間引く方法 (Thinning Method) が「最小比 (Minimum Ratio)」の時にアクティブになります。

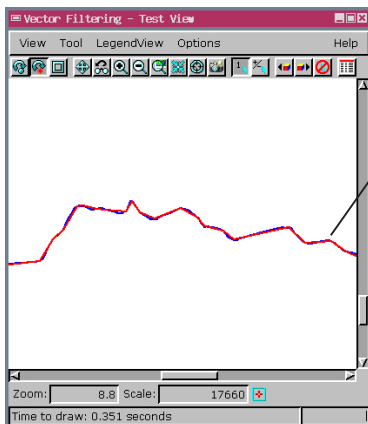


3つのライン単純化手法から1つを選択します。

削除する中間点の数を増やすには、「間引きの距離 (Thin Distance)」を大きくします。

[テスト (Test)] ボタンをクリックして結果をプレビュー表示します。

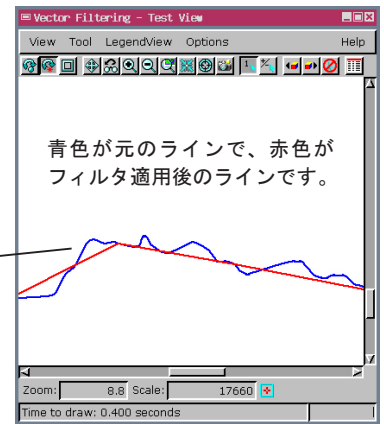
「間引きの距離」が10mの場合の出力



[ラインの単純化] フィルタによって1305個の中間点の内、824個 (63.1%) が削除されました。

[ラインの単純化] フィルタによって1305個の中間点の内、1008個 (77.2%) が削除されました。

「間引きの距離」が100mの場合の出力



青色が元のラインで、赤色がフィルタ適用後のラインです。

ベクタのフィルタによる単純化の方法

- [各種図形 (Geometric)] > [フィルタ (Filter)] を選択します。
- [選択] ボタンをクリックして、ベクタオブジェクトを選択します。
- [フィルタの追加 (Add Filter)] アイコンをクリックして [ラインの単純化 (Line Simplification)] フィルタを選択します。
- [詳細表示 (Show Details)] アイコンをクリックして、3つのフィルタ手法から1つを選択します。
- フィルタ手法「Douglas-Peucker」または「最小距離 (Minimum Distance)」を選択した場合、「間引きの距離」に値を入力します。
- フィルタ手法に「最小比 (Minimum Ratio)」を選択した場合、「細さの比 (Thinness Ratio)」に値を入力します。
- [テスト (Test)] ボタンをクリックして、フィルタ効果をプレビューします。
- [実行 (Run)] ボタンをクリックして、出力するベクタオブジェクトを作成します。



さらに知りたいことがあれば...

オンラインリファレンスマニュアルの Process の Vector Filter をご覧下さい。

